



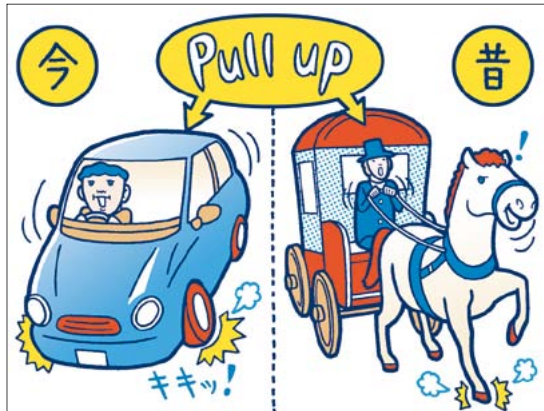
勉強のおもしろさや勉強する理由がわかってくる!

# やる気の法則。

## ▶ 第1回：英語

取材・文/太田知子  
イラスト/楳川伸

「勉強って何がおもしろいの?」「どうして勉強しなければいけないの?」という素朴な疑問に、勉強のプロである「受験サプリ」の人気講師が回答!「こんな見方や考え方があったのか!」と驚き納得してしまう3つの法則を伝授します。



次は、hangupについて説明しましょう。hangupは、「電話を切る」という意味ですが、なぜ「電話を切る」になるのでしょうか? hangupも、よく見ると、hang「ぶら下げる」「上」です。では「何を」上にぶら下げるのか。そう、正解は「受話器」。壁掛け電話の時代に生まれた言葉なんです。公衆電話を思い出してください。「受話器を」上にあげて、電話の横にガシャンとぶら下げる行為は、まさに「電話を切る」という行為になりますよね。こんなふうに昔の人の暮らしの中で当たり前に行われていた動作が語源になっていることを知れば、覚えにくい熟語も生き生きと見えてきませんか?

「電話を切る」も昔前は当たり前だった動作が語源

### 法則1

熟語の意味に潜む語源を知ればなるほどナットク!

「車が止まる」は「馬の手綱を引く」が語源

pull upという熟語には「車が止まる」という意味があります。こういう表現だと言ってしまうはそれでおかしいですが、なぜ「止まる」という意味があるのか、考えてみませんか? この熟語をよく見ると、pull「引く」「上」に「上」に「上」に引くと「上」に引く。「何を」上に引くのでしょうか? 実は元々は、「馬の手綱を」上に引くという意味なんです。馬の手綱を上に引けば、馬は止まりますよね。このpull upという熟語は、移動手段がまだ馬だった時代に生まれた言葉が、現代に引き継がれているものなのです。



論理的思考力は、社会に出てからも、非常に大切な能力です。社会人となつて意見を言ったり何かを提案したりするときは、必ず根拠や裏付けとなるデータが求められます。「なぜそう思うのか?」「どうしてそれが正しいと言えるのか?」と繰り返し問われます。物事がどうあるべきか、問題をどう解決すべきかを考える力ともいえますが、これはまさに英語の思考法そのもの。英語を学ぶことは、単に英語を話せたりする以上に、こうした生きるうえでの基盤となる力を身につける格好のトレーニングになると思いますよ。

企画書、会議の資料作成などでも英語の思考法が役立つ

### 法則2

英語はとっても論理的  
社会で役立つ力が身につく

結論→根拠→結論の順で述べるのが英語の常識

英語というと、英会話ができるというようにな、すぐに役立つ「実学」の側面が目目されがちです。でも論理力という、すぐに役立たないけれども、人としての基礎力・生きる力となる「虚学」の側面があることを忘れてはなりません。

英語はとても論理的で、英語で何かを主張する場合、理由や根拠が必ず必要になります。話の展開としては、まず自分の主張を述べ、次にその正当性を裏付ける具体例やデータ、理由を提示して、最後にもう一度主張を提示して終わるというのが一般的です。

英語の学習を進めていくと、こういった論理的思考力が少しずつ身につけていきます。

今回の「やる気の法則。」を教えてくれたのはこの先生!



肘井 学先生

「受験サプリ」にて英語の講義を多数担当。できないことをできるようにするための独自のノウハウを惜しみなく提供している。熱い情熱をクールな面差しに秘め、人気を博す。趣味はサッカーと旅行。現在は「受験サプリ」の仕事に邁進中。



### 法則3

非ネイティブ同士でも  
気持ちを通じる

英語が話せるって素晴らしい!  
一生の財産と考えて学ぼう

最後に、英語の「実学」的側面について考えてみましょう。今、日本ではほとんどの大学で英語が必修科目です。英語を必要とする企業も増えています。でも「だから英語を頑張ろう」という気持ちになれますか? 実感がないのが正直なところでしょう。

個人的には英語のすばらしさを感じるのは、非ネイティブ同士でも、英語で気持ちが通じ合うところです。オランダ人、韓国人、ロシア人など、英語ができれば、いろんな国の人と話ができます。お互いの母国語が違っても、英語で気持ちが通じ合う瞬間は、最高の感動を生み出してくれます。

肘井先生の講義も公開中!

受験サプリ  
<https://jyukensapuri.jp>

月額980円で人気講師の受験対策講義を見放題。スマホやPCでいつでもどこでも自分のペースで勉強できるネット予備校。115大学の過去問無料ダウンロードや合計1万語以上の暗記カードも提供。